



車内の金城学院大学

8限目

「生薬学」

「平安時代の十二単のひみつ？」

[薬用植物学]

十二単は貴族の優雅さを象徴する衣装ですが、入浴が一般的ではなかった平安時代、どのように清潔を保っていたのでしょうか。実は、十二単の紫色の染料に使われていた「ムラサキ」という植物の根の色素成分には、抗菌作用があるため、染料として使うことで皮膚病から体を守る効果があったと考えられています。現代において、ムラサキの根は抗炎症の外用薬としても使用されています。このように現代科学の目で見ると、昔の人が発見した薬用植物の活用方法にもしっかりと根拠があり、今に活かされているのです。

人の健康のために、薬の可能性を追求する。それが薬学部 薬学科

強く、優しく。



金城学院大学